

# 申告書記載例

(マイナンバー) 個人番号又は法人番号を記載してください。

所有者の住所・氏名・電話を必ず記載してください。  
※法人の場合は代表者職氏名を記載してください。

個人の場合は、事業を開始した年月、法人の場合は設立年月を記載してください。

受付印		令和 8 年度 償却資産申告書(償却資産課税台帳)	当初入力№	発 送 番 号 7,654,321
1 住所 (又は納税通知書送達先)	665-6632-8665 逆瀬川一丁目一番一号 東洋町一丁目一番一号	3 個人番号又は法人番号	8 短縮耐用年数の承認	有 ・ 無
2 氏名 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名)	株式会社 東洋ペカリース 代表取締役 宝塚 太郎 東洋ペカリース 宝塚店	4 事業種目 (資本等の金額)	9 増加償却の届出	有 ・ 無
	屋号 ( 東洋ペカリース 宝塚店 )	5 事業開始年月	10 非課税該当資産	有 ・ 無
		6 この申告に 応答する 担当者	11 課税標準の特例	有 ・ 無
		7 税理士等の 氏名	12 特別償却又は圧縮記帳	有 ・ 無
			13 税務会計上の償却方法	定率法 ・ 定額法
			14 青 色 申 告	有 ・ 無
			15 申告税務署の名称	西宮 税務署
資産の種類		16 宝塚市内における事業所等資産の所在地(および家屋の所有区分)		
1 構築物	5,100,000	100,000	300,000	5,300,000
2 機械及び装置	6,500,000			6,500,000
3 船 舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	1,900,000	300,000	485,000	2,085,000
7 合 計	13,500,000	400,000	785,000	13,885,000
資産を所有している方は、上記の資産の種類(1~7)の「取得価額(イ)」に記載してください。 資産に増減のある方は、「合計(イ)-(ロ)+(ハ)=(ニ)」も記載してください。		17 借用資産(リース資産) リース会社等 資産名 寿リース(株) 菓子製造設備		
資産の種類		18 前年度より資産の増減 有 ・ 無		
1 構築物		19 償却資産の該当なし		
2 機械及び装置		20 異動事項 〔異動日: 7 年 7 月 1 日〕 該当項目を○で囲んでください。 ア.廃業 イ.市外転出 ウ.休業 エ.住所(送付先)の変更 オ.氏名(名称)の変更 (新設法人・相続人及び合併先等)		
3 船 舶		21 備考(添付書類等)		
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品				
7 合 計				

⑧~⑪で有の場合は、下記の書類を提出してください。  
⑧国税局長からの承認通知書  
⑨税務署長への届出書  
⑩非課税適用申請書  
⑪課税標準の特例適用申請書

申告している税務署の名称をこちらに記載してください。

事業所等の資産の所在地を記載してください。  
また、事業所用家屋の所有区分について、該当するほうを○で囲んでください。

借用(リース)資産がある場合には、その資産の名称、貸主の名称等をこちらに記載してください。

申告する償却資産が無い場合は、こちらを○で囲んでください。

前年度より変更等がある場合、その他申告について参考となる事項等があれば、こちらに記載してください。

電算申告を行う場合は、(ホ)~(ト)の欄まで必ず記載してください。

〈電算申告〉の方は、下段の(ホ)~(ト)も記載してください。

取得価額	(イ) 前年前に取得したもの	前年度までに申告された方について、全資産の取得価額合計額を資産の種類別に印字しています。
	(ロ) 前年中に減少したもの =種類別明細書(減少資産用)と一致	前年中に減少した資産(申告漏れも含む)の取得価額を資産の種類別に記載してください。
	(ハ) 前年中に取得したもの =種類別明細書(増加資産用)と一致	前年中に取得した資産(申告漏れも含む)の取得価額を資産の種類別に記載してください。
	(ニ) 今年度の申告による全資産の合計取得価額	(イ)-(ロ)+(ハ)の合計を、それぞれ資産の種類別に記載してください。

## 〈電算申告とは〉

電算機によって全資産について評価額を計算し、取得価額・取得年月・耐用年数とともに出力して申告する方法のことをいいます。  
必ず、全資産の明細書を添付してください。

宝塚市

## 増加した資産の記載例

(初めての方は、全資産について記載してください)

取得した年月を記載してください。  
年号については、あらかじめ令和を表す「5」を印刷しています。  
平成の場合は上から「4」と記載してください。  
(「平」「H」などの文字は使わないでください)

取得価額(税抜・税込は税務署申告に合わせてください) および  
法定耐用年数(「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に  
基づく)を記載してください。

令和 8 年度

### 種類別明細書(増加資産・全資産用)

<資産の種類>  
1-構築物  
2-機械及び  
装置  
3-船舶  
4-航空機  
5-車両及び  
運搬具  
6-工具、器具  
及び備品  
で、対応する数  
字を記載してく  
ださい。

※当初入力No.		発 送 番 号		所 有 者 名		枚のうち					
		7 6 5 4 3 2 1		(株)東洋ベーカリーズ		枚 目					
行 番 号	資産 の 種類	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月		取 得 価 額	耐 用 年 数	増 加 事 由	※課税標準の 特 例		摘 要 (4その他の場合はその 詳細等も記載してください)
				年 号	年 月				率	コード	
1	01	1 日よけテント	1	5	7 7	300 000	8	①・2 3・4			買い替え
1	02	6 冷凍庫	1	5	6 7	200 000	6	①・2 3・4			申告漏れ
1	03	6 フライヤー	2	5	7 10	235 000	7	①・2 3・4			
1	04	6 冷蔵陳列ケース	1	4	29 10	250 000	6	1・2 ③・4			神戸店より
1	05			5				1・2 3・4			
1	06			5				1・2 3・4			
1	07			5				1・2 3・4			
1	08			5				1・2 3・4			
1	09	該当資産の名称、規格等を記載してください。		5							
1	10			5							
1	11			5							
1	12			5							
1	13			5							
1	14			5				1・2 3・4			
1	15			5				1・2 3・4			
1	16			5				1・2 3・4			
1	17			5				1・2 3・4			
1	18			5				1・2 3・4			
1	19			5				1・2 3・4			
1	20			5				1・2 3・4			
小 計			5			985 000					

資産の増加事由について、次のい  
ずれかを○で囲んでください。  
1-新品取得  
2-中古品取得  
3-移動による受入れ  
4-その他⇒「申告漏れ」等の事  
由を摘要欄に記載してください。

注意 1. 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。  
2. 「取得年月」の欄の年号については、4 平成、5 令和とし、それぞれの年号に対応する数字を記入してください。

## 減少した資産の記載例

前年度までに申告いただいた内容により作成しております。  
(電算申告の方、今年初めて申告される方には送付しておりません。)

**A 減少した資産がある場合は、取り消し線を引き、摘要欄に理由を記載してください。**

また、この用紙にかえて種類別明細書（減少資産用）を提出いただいても結構です。

**B 印字している内容に変更（一部減少 等）がある場合は、取り消し線を引き、余白に正しい内容を記載してください。**

当 初 N o.		発 送 番 号		令和 8 年度				123456		No. 1		所 有 者 名		1 枚のうち	
		7654321		償却資産種類別明細書						株式会社東洋ベーカリーズ		1 枚 目			
行 番 号	資 産 の 種 類	資 産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月	取 得 価 額	耐 用 年 数	減 価 残 存 率	価 額	※ 課税標準の特例 率 期限年	※ 課税標準額	増 加 事 由	摘 要		
1	1	1	テンポナイソウイッシキ	1	H15.4	5,000,000	10					1・2 3・4			
2	1	2	<del>セコケテント</del>	1	<del>H16.7</del>	<del>100,000</del>	<del>8</del>								
3	2	3	パンセイゾウセツビ	1	H15.4	5,000,000	9								
4	2	4	パンセイゾウセツビ (カイヨウビ)	1	H20.10	1,500,000	9					1・2 3・4			
5	6	5	レイゾウチンレッツケース	<del>4</del> 5	H15.4	<del>1,200,000</del> 1,500,000	6					1・2 3・4			
6	6	6	クーラー	1	H15.4	200,000	6					1・2 3・4			
7												1・2 3・4			
8												1・2 3・4			
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18												1・2 3・4			
小 計															

**A 減少した資産がある場合、**  
資産の名称等以下を消してください。

**B 資産の一部が減少した場合は、**  
取り消し線を引き、余白に減少後の内容  
(数量・取得価額等) を記載してください。

**摘要欄の書き方について**

①**全部減少の場合**  
減少事由を記載してください。  
(例 売却・廃棄・移動・その他)

②**一部減少の場合**  
減少数量と減少事由を記載してください。  
(例 減少〇年〇月 2台 廃棄)

③**前年以前から減少していた資産の場合**  
「申告漏れ・減少年月」を記載してください。  
(例 申告漏れ 令和〇年〇月 除却)

④**その他変更理由等あれば記載してください。**